



大みか 第91号 2010・12・25 市民報

発行
日立市大みか学区
コミュニティ推進会
会長 川村 広
編集 地域活動局
広報部
☎ 53-5211

楽しさいっぱい！ 第30回 お土産いっぱい！ 市民レクリエーション大会

この大会の検討委員会は、3回の会合を重ねた結果、「団対抗を無くし、自由参加の個人競技として大会を継続開催することが、地域ふれあいに必要である」と決めました。

10月24日大みか小学校グラウンドで、青空の下、610余名の参加により盛大に行われました。各競技とも参加杯一杯の出場者で楽しく競いました。

「食欲の秋」ではパンを落とすほど元気に。「大みかスカイツリー」では高く積み上げたジュースの缶が制限時間内で崩れ、せっかくの努力が水の泡に。キャベツ、ダイコン、じゃがいも、人参など3kg以内を袋に詰める「買い物競争」と、お土産いっぱいの楽しい大会でした。水木保育園の荒馬踊り・水木わかば幼稚園のヒップホップダンス・大みか風神太鼓連の風神太鼓・子どもたちのアトラクションに、みんな笑顔で拍手を送って



大声でがんばりまーす

いました。

恒例の〇×クイズ・全体抽選会も行われ、胸をわくわくさせた一瞬でした。子ども会対抗の地域子ども対抗リレーでほほえましい興奮を覚え、楽しい三世代のコミュニケーション行事になりました。

参加、応援の方々、準備にかかわった役員の方々がありがとうございました。

◇反省会での意見

11月11日に行われた反省会では、



食欲の秋…パクッ

- ・子ども会の役員さんにおいしい、応援を得られたのが良かった。
- ・団長は出場者集めに奔走しなくてすんだので気分的に楽であった。
- ・今年のようなやり方ならば来年も続けられる。
- ・参加者を増やすために更なる改善が必要などの意見が出ました。

140名が参加／避難・防災訓練

11月20日午前9時、一次避難場所より大みか小学校に集合し、校庭で臨港消防署員の指導で防災訓練が実施されました。

今年は無線放送はありませんで



初期消火は大切です

したが日頃受信機が聞こえない方は、この際に市民相談室(22-3111)で調べてもらいましょう。

今年の訓練は心臓マッサージとAED器の使い方の実演に多くの関



心臓マッサージ

100回/分のペースで...

心が集まり、説明に納得していただきました。通報・煙・消化器・緊急運搬・バケツリレーなどが署員の方々の指導で行われました。

講評は「災害時の犠牲を少なくするには近隣住民の活躍が必要です。日頃から防災活動に努力されている皆さんに期待します。自分と地域は自分たちで守るとの考えで、今日訓練した力と勇気を発揮してください」との事でした。最後に女性防火クラブ員の炊き出しの豚汁をいただき、終了しました。

家族連れで賑わいました！ 第2回 交流センターまつり



かわいい子どもたちのフラダンス

11月14日大みか交流センターまつりが開催されました。

利用者団体発表会と大みか地区社協まつりが合同で、今年2月にはじめて大みか交流センターまつりとして行われましたが、会場の広さや開催時期などの課題があり、今回は福祉関連の社協まつりとは、別々に行うこととなりました。

利用者団体の芸能の発表や作品展示、大みか小学校児童作品展示、新たにマジックショーと大みか風神太鼓連による風神太鼓の参加がありました。全員が日頃の成



初出店の古本市

果を披露し、賑やかにまつりを盛りたて、楽しい雰囲気でした。

模擬店は、パン、肉・あんまん、野菜、とん汁、うどん、お餅、おこわ、初出店の古本市が行われました。開店と同時にたくさんのお客様が詰めかけて早々に完売するところもあり大盛況でした。

最後は、お楽しみ抽選会があり約300枚の抽選券の中から名前が呼ばれるたびに、会場から歓声があがりました。

三世代で来場される家族も多くみんなで一緒に楽しめるまつりとなりました。

元気な子どもたちでいっぱい！ 第10回 きゅうりまつり



梅雨明けの7月18日、今年も「大みか学区子ども祭り」が、200人を越す子どもたちや家族が集まって1丁目駅前裏通りで行われました。

水鉄砲、射的、忍者ゲームなどの子ども遊びや、風神太鼓、水木幼稚園児よさこいソーランや大みか小学校少女ハワイアンダンスなどのイベントも盛沢山、最後の子ども花火大会まで一日中、元気な子どもたちの歓声が響きました。



人気の水鉄砲海戦

今年は花火が良く見えました！ 第20回 大みか納涼まつり



大みか商店会主催による、恒例の納涼まつりは、8月21日に行われ、泉丘中学のブラスバンドが初参加しました。例年通りイベントが盛沢山、大みかにもこんなに人がいるのか？と思うくらいの人出で賑やかで盛大な夏祭りでした。

大みかコミ推からも、大みか音頭、盆踊りなどの出演や、手羽焼き、金魚すくいなどの出店で協賛しました。

◆大みか商店会主催の「大みか納涼まつり」は第20回の今年で終了となりました。



◀良く見えた花火

入賞めざして

インパルス(大みか)準優勝

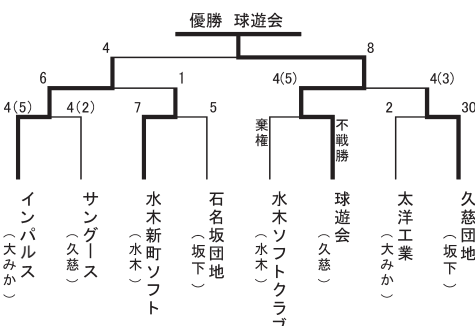
第1回 南部地区親善ソフトボール大会

9月5日(日)に日立市南部の大みか・水木・久慈・坂下の4地区による親善ソフトボール大会が、通称お魚センター隣の久慈交流センター北側グラウンドで開催された。

当日は猛暑の続いた炎天の下、



いざ勝負!! 決戦だ!



注:()内は同点でジャンケンの結果の勝敗

各地区代表の2チームによる、8チームのトーナメントで行われた。

開会式は、この大会が開催に至った経緯を、今大会主催者の大みか交流センター川村会長から話され「今後同地区の親善交流の向上を図りたい」と挨拶された。選手宣誓はサンゲースの菊地秀夫さんが元気に行った。

各試合とも地区代表に相応しく好プレーが続出し、白熱した展開となった。今大会のルールでは同点の場合、ジャンケンで勝者となりました。

決勝戦は日頃の実力を発揮した「球遊会」が「インパルス」を破り優勝しました。関係者のご厚意により第1回記念大会は大成功を納め、次回は水木交流センターの主催で行われます。南部地区大会の今後の発展を期待します。



**ご苦労さまでーす！
街路の除草作業を実施
シティーロード大みか**

残暑の厳しい9月11日、生活環境部が、大通り周りの除草作業を実施した。八尾部長を先頭に部員計9名が参加し、街路樹周辺、歩道周りなど生い茂った雑草を丹念に刈り取り合わせて清掃を行った。

この作業は、生活環境部が本年度の事業計画にあげている「公園街路の美化推進」の一環の作業で、この他にも公園などの除草の支援を実施しています。部員の皆さんの献身的な努力で、大みか町内の清潔できれいな環境が保たれています。

◇感じたこと

大通りに面した各事業所・商店には、それぞれの前のところだけでも自主的に除草・清掃をしてもらってはどうか！

取材：広報部

緑風の滝川溪谷を歩く！大みか元気っ子「野外体験学習」

青少年育成部主催の野外体験学習は、今年は8月8日貸切バスを利用して福島県の滝川溪谷へ遠征した。参加者は5・6年生男女15名、育成会5名、スタッフ10名、総勢30名。登山口を午前10時前に4班に分かれて元気に出発、次々



水しぶきを浴びながら！

**炎天下の暑さに耐えて
騎馬武者による戦国絵巻を堪能**

盛夏の7月24日、大みか大学野外学習で、福島県の「相馬野馬追い」を見学した。当日は貸し切りバスを利用し参加者39名、指定席見学とはいえ、炎天下の猛暑に耐えながらの見学であった。(熱中症で倒れた方も出たが回復した)

数百騎の甲冑騎馬武者による勇壮華麗にして豪華絢爛に繰り広げられる戦国絵巻の再現と、そのど迫りに圧倒された3時間を過ごした。

威風堂々、甲冑騎馬武者軍団の「お行列」、旗指し物をなびかせ、人馬一体で疾走する勇壮な「甲冑競馬」、花火で打ち上げられた御神旗を、数百騎の騎馬武者が勇猛果敢に奪い合う「御神旗争奪戦」など、一千有余年の歴史を持つ伝統文化行事を堪能した。



迫力満点な甲冑騎馬武者競馬

大みか大学
野外学習

◇参加者の感想

- ・戦国時代の合戦を見るようで感激興奮した。
- ・それにしても暑さはすごかった。もう二度と見には行けないかも？

鉄道博物館と川越散策

11月22日、参加31名による大みか大学野外学習は、バスでさいたま市の鉄道博物館と、紅葉見頃の城下町川越市を見学しました。開館4年目の鉄道博物館は、昔懐かしい日本最初の汽車や、初代の新幹線車両の他、明治天皇等の御料車等に人気がある。午後は、小江戸の名もある川越へ。

今から400年前、江戸城内での三代将軍家光の誕生の間や、春日局の間などが川越に移築されて現存する喜多院を見学。また今も一日4回、時を告げる「時の鐘」の櫓を見学。明治26年大火に焼け残る蔵造りの街並と駄菓子横丁を、現地ガイド付きで見学しました。



D51の前で



ご一緒にいかがですか

賀詞交歓会を行います。この機会に、地域の方々と親睦を深めてみてはいかがでしょうか。お申し込みをお待ちしています。

日時：平成23年1月9日(日)

午前10時～

場所：大みか交流センター

参加費：1,000円(当日)

申込み：交流センター ☎53-5211

締切り：1月5日

日立の魅力 「再発見ウォーク」 大みかを歩こう!

日立の魅力を再発見しようと、毎年秋の季節に「再発見ウォーク」がそれぞれの学区ごとに日立市コミュニティ推進会の主催により開催されて今年で12回目になります。今年度は市内21か所をめぐり、そのひとつとして大みか学区コミュニティ推進会再発見ウォーク実行委員会により、11月7日(日)「阿武隈山地の最南端・大甕を歩こう!」が暖かい日和の中、17名の参加で行われました。



真剣に聞き入る参加者

まずは風神山山頂まで全員タクシーで移動してから、風神雷神の碑の説明を聞き、後はダウンヒルコースを自然や史跡を巡り、楽しむ趣向でした。

展望台より、東海から会瀬方面までを見渡し、古宮の碑・恵の泉・大甕神社・泉川道標・大甕クラブ・八坂神社・六ツツ塚古墳など、歴史を詳しく聞きながら午前中を歩きました。

参加者の多くは、あちこちのウォークに参加されていて、それぞれのイベントの特徴を楽しまれていました。まさに「再発見ウォーク」バンザイの感がありました。

地域懇談会で激論 「地域のことは地域の責任で」 が原則です

今年も地区懇談会が、7月9日、各班長さんほかとコミ推役員が集い、今、各地域で困っている問題や近所の素敵な活動について、話し合いました。

例年同様、ごみの問題が主な話題となりました。

- ・カラスのいたずら
- ・燃えるごみの外部からの持込みなどの対策に苦心している地域が多く、コミ推役員にもっと強力な支援を!との意見が出ました。

コミ推役員は、会長を除き、総てボランティアで地域のために奉仕で活動しています。

各地域の問題は、各地域の方々の自己責任で解決するのが原則です。コミ推役員は、申し出があれば相談に応じます。

大みか歴史散歩

第2回 「古房地公園」

昭和35年以降に水木町と久慈町の一部が合併して大みか町が誕生した。同町4丁目で国道245号線から海側に古房地公園がある。古い字名では水木町側が小坊地、久慈町側は古房地という。そこに海岸に突き出ている古房地鼻がある。太平洋が一望できる公園は、海拔20mの平坦地にあり、崖下の海岸線は久慈浜海岸。岬の先は親潮と黒潮がぶつかり合う潮目の場所で、魚介類の宝庫でもある。

公園内に昭和42年重要港湾日立港の新設開港に伴い、日立燈台ができた。同港に出入りや、沿岸を航行する船舶の安全を図っている。燈台の高さは、地上24m、海面から42m。光遠距離は沖合約33km。これは丁度、太平洋戦争末期、沖の米軍艦から艦砲射撃があった距離に匹敵する。燈内の内部を見学できる日もあります。

燈台の付近に、三代芳松翁の銅像が建っている。翁は明治7年に



公園に建つ白い灯台と三代芳松銅像

久慈町の網元の長男に生まれ、父親は鯉船の船長であったが、操業中に暴風雨にあい遭難。家業を継いで15歳で船長となった。ある日、太田町で製糸工場の機械を見学した時、巻紙機械にヒントを得て底曳巻上げ機械をつくり、改良を加えて大正15年に改良鯛揚操網(あぐりあみ)漁を発明した。一気に鯛の大漁となり漁業の発展に繋がったという。

功績を讃えて、昭和11年久慈町の薬師堂境内に銅像が建てられ、昭和45年、ここ古房地公園に移設されました。その姿は双眼鏡を片手に持ち、沖合をじっとみつめて立っています。 広報部・鈴木

気がつきましたか? 角型が丸型に

駅前花壇のところに立っている時計台は、劣化のため止まってしまいました。このため7月に新しい時計を取り付けました。太陽電池で駆動するエコタイプです。



ピッタリの時を刻んでいます

編集後記

昨年はインフルエンザが大流行して、市民レク等が中止されました。今年は猛暑が続きましたが、内容を変えた市民レクには600人以上が参加しました。実施時期を繰り上げた交流センターまつりも、盛況でした。これからも色々な催物に気軽に参加しましょう。

鈴木記